

「宇和本校と三瓶分校の文化祭」

窪田

11月2日(土)の午前中、三瓶分校生全員で宇和高校の文化祭に行きました。体育祭が終わってから全く会えていなかった宇和高校の友達に会えるのがとても楽しみでした。体育館に入って友達に会うと、久しぶりだったこともあって話がとても盛り上がりました。全体公演の前に、三瓶分校文化祭のPRをしました。あいうえお作文形式で、一人一言をつなげてPRしました。やる前は「人前が出るのが恥ずかしい。嫌だ。」という気持ちがありましたが、本番は覚悟を決めて頑張りました。緊張しましたが、無事に終わることができて良かったです。全体公演では、吹奏楽部の演奏がありました。モンゴル800の「小さな恋のうた」やMrs. GREEN APPLEのメドレーなどがあって、口ずさみながら楽しめました。音楽選択生の発表では、2年生の男子4人が三線を弾きながら歌っていたのが素晴らしいと思いました。全体公演の後、展示発表や模擬店などを見て回りました。キッチンカーも出ていて、大雨でしたがにぎわっていました。宇和高校の文化祭に行ったのは初めてでしたが、とても楽しく良い経験になりました。午後は、学校に帰って文化祭の準備をしました。私はまず、華道の展示の準備をしました。2時間ぐらいかかってしまいましたが、顧問の先生にアドバイスをいただきながら、丁寧に花を生けて納得できる作品に仕上げることができました。それから、家庭クラブやクラスの準備などをしました。

11月3日(日)三瓶分校最後の文化祭、私は「人はあまり来ないだろう。」と思っていましたが、去年と同じで多くの人に来てくれてにぎやかになりました。家庭クラブで作ったカテクッキーも、あつという間に売り切れてとても嬉しかったです。そして、キッチンカーや体験型のブースもあって、多くの人が好きなものを買って食べたり体験したりして楽しんでいました。午後の有志の歌唱大会も、一般の参加者もいてとても盛り上がりました。本番までには、クラスや部活動、総合探究、委員会、家庭クラブや生徒会、1人に何個も役割があって大変でした。それでも、14人のメンバー全員で力を合わせて、思いっきり楽しく悔いの残らない文化祭にすることができました。後片付けも全員でスムーズに終わることができました。三瓶分校最後の文化祭は、私たちにとっても高校生活最後の文化祭でした。大変なことも多くありましたが、準備に力を入れて頑張った分だけ素晴らしい文化祭になったのだと思います。この経験を、これからの学校生活や人生で生かしていきたいと思います。まずは、毎日の授業や家庭学習にしっかり取り組んで、テストで良い点をとれるようにしたいです。ほかにも、学校行事ではクラスマッチがあります。男子はサッカー、女子はバスケットボールをします。まずはサッカーやバスケットボールのルールをしっかりと覚え、そして体育の授業でサッカーやバスケットボールを練習して、少しでも多く点をとって勝てるように頑張りたいです。